

環境マネジメントシステムの運用について

👉 令和6（2024）年度環境マネジメントシステム取組結果を報告する。

1 令和6(2024)年度環境マネジメントシステム取組結果

温室効果ガス排出量算出の対象となる各種エネルギーの使用量及び対前年度比

指 標	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	増減率	評 価 等
電気 (kWh)	42,410,624	45,443,072	7.2%	令和5年12月に開設した「はるみらい」が通年稼働したことや、晴海特別出張所等複合施設などが令和6年4月に開設したことなどにより増加となった。
都市ガス (m ³)	3,172,368	3,310,820	4.4%	晴海西小学校、晴海西中学校が開設したことや、令和6年度は全国的に気温の高い状態が続いたことなどによって、空調機器の使用量が増加となった。
液化石油 ガス (m ³)	5,640	5,749	1.9%	宇佐美学園や伊豆高原荘の厨房等で使用されており、例年どおりの運用となったため使用量の変化は僅かであった。
燃料 (L) (ガソリン・灯油 ・軽油・A重油)	190,078	421,374 (206,879)	121.7%	令和6年度から推進している「中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画(第6次)」から公用車分のエネルギーも算定対象として追加したため、使用量が大幅に増加となった。※カッコ内の数値は公用車分
地域 冷暖房 (MJ)	17,811,941	21,002,547	17.9%	気温の高い状態が長く続いたことや熱中症対策のため、リハポート明石などで、例年と比べて空調機器の使用期間が長くなったことから、使用量が増加となった。